



# 学校訪問

## 学校自慢



男女仲よいチーム三中

### 第三中学校

南千住8-10-1

生徒が部活動を紹介します  
バスケットボール部

私たちが第三中学校バスケットボール部は、男子2年16名、1年10名、女子2年5名、1年6名、計男子26名、女子11名で活動しています。

活動日と活動内容は、月・火・金曜日は体育館で練習をし、木曜日は体育館が使えないので校内で体幹トレーニングをしたり、走るメニューをしたりしています。

土日は半日練習をしたり、練習試合をしたり、大会が入ってきたりと、ほぼ毎日忙しく活動しています。

これまでの私たちは、試合での動き方なども分からず、試合に負けてばかりでした。そのため、都大会出場という新しい目標を立て、その目標に向かって日々練習に励んでいます。

また、普段の活動では、にぎやかな雰囲気でも怒られることも多いですが、やる時は真剣に取り組み、部員同士でプレーを指摘し、改善しています。

ただ練習をこなすのではなく、自分達ができること、自分達が改善しなければいけないことを一人一人が意識できるように練習をしています。

春の公式戦に向けてよい成績を残せるように練習していきます。

応援よろしくお願ひいたします。



▲春の大会上位を目指して!

執筆者 男子部長 安藤 泰  
女子部長 英 樹里

### 第二瑞光小学校

南千住5-8-1

学校の自慢を児童が紹介します



▲田植えの様子

▲二瑞の森での特別授業

第二瑞光小学校は、平成28年度に創立115周年を迎えます。明るく元気な仲間です。上級生は下級生に優しく、学校中が友達です。二瑞小の自慢できることを2つ紹介します。

1つ目は「二瑞の森」という自然豊かな場所です。二瑞の森にはたくさん植物があり、木がたくさん植えてあります。二瑞の森だけでも約50本の木があり、カキやサルスベリ、サクラなどの木があります。時にはナチュラリストの方が二瑞小にいらつしやり、二瑞の森で特別授業をしてくださることもあります。

四季の自然の変化を観察すると、新しい発見ができます。

2つ目は、二瑞の森のなりにある「田んぼ」です。毎年5年生が米作りを行っています。5月に田起こしや代かきをし、6月には田植えをします。ここで初めて田植えの体験をする人が多いようです。土の感触を楽しみながら、植えることができます。そして、秋になるといよいよ収穫です。その後脱穀やもみすりなどをし、二瑞米を試食することもできます。

これらの貴重な体験は他の学校では味わえないと思うので、引き続き続けてくれることを願っています。

執筆者 6年 高橋陽夏  
高橋祐翔

**第8回 柳田邦男絵本大賞表彰式**

1月15日、「第8回柳田邦男絵本大賞」表彰式が行われました。1169件もの応募があり、各賞合わせて27名の方が受賞しました。また、表彰式後に、今まで絵本大賞に寄せられた手紙を紹介しながら、柳田先生が絵本の魅力を伝える講演会も開かれました。

**第1回 C.Wニコル自然体験大賞表彰式**

自然体験で感じたことをナチュラリストで作家のC.Wニコルさんへの手紙を通じて表現する「C.Wニコル自然体験大賞」が、1月23日に行われました。

726件の応募から11名の方が受賞。講演会では、ニコルさんの活動や自然への思いなどが語られました。

**中学生ランナーが疾走!**

**第7回中学生「東京駅伝」**

1月20日、第7回中学生「東京駅伝」に出場する代表選手が集まり、壮行会が行われました。男女の代表選手が力強く意気込みを話しました。2月7日に大会が行われ、精一杯力を発揮し、たすきをつなぎました。

▲大会に向けての思いが伝わる選手宣誓でした

**あらかわ今昔ものがたり**  
あらかわの歴史と伝説  
その99 鷹狩とあらかわ  
~尾久の犬療養所と三河島の鶴御成~

常磐線三河島ガード下(東日暮里一丁目付近)の壁に大きな鶴の絵が描かれているのを知っているかい? どうして、鶴がここに描かれているのか? 良い質問だね。みんな、鷹狩って聞いたことがあるだろう。そうそう、鷹を操って獲物を捕る狩りのことだね。あの絵は鷹狩をテーマに描いたものなんだよ。徳川幕府の将軍は、初代の家康以来、鷹狩が大好きで、体を鍛えるための年中行事として行われた。冬になると、鷹狩の場所に指定されていた三河島などの村を訪れ、たくさんの家来や村人を動員して盛大に行ったんだよ。

**動物愛護で鷹狩禁止!**

ところが、鷹狩が、一時期禁止されたことがあったんだ。それは、五代将軍綱吉さんの時。綱吉さんは「生類憐みの令」という動物愛護を全国的に広めた人で、厳しい罰則を設けた。異常なほどにワンちゃんを可愛がったので、犬は「お犬様」と呼ばれ、綱吉さんは「犬公方」というあだ名で呼ばれたそうだよ。動物愛護のために、鷹狩も禁止に。将軍の鷹の世話をする役人・鷹匠の仕事も無くなり、中野の犬小屋(現中野区)に集められた野良犬の世話係を命じられたんだってさ。

**尾久にお犬様の療養所!**

昔、西尾久の一部は鷹匠の領地だった。元禄時代には、病気になる犬の療養所があったらしい。「生類憐みの令」と関係がありそうだよ。八幡神社(西尾久三丁目)の古地図には、病犬を収容する施設が2つあったと書かれているんだよ。江戸時代の尾久に犬専用の療養所があったなんて驚いちゃうよね。

次の将軍の代になると極端な動物愛護の「生類憐みの令」は廃止され、八代将軍吉宗さんは、鷹狩を復活したそうだよ。

**鶴御成の村三河島**

三河島は、将軍が訪れ鶴を捕まえることで知られた村だった。九代将軍家重さんが鶴を捕まえ天皇に献上したことから、鶴を捕獲するための鷹狩は「鶴御成」と呼ばれるようになった。鶴御成は厳かな雰囲気で行われたんだ。将軍は、三河島を訪れ、鷹を放つては必ず鶴を捕まえて、その理由は、鶴の「飼付場」の存在だ。東日暮里一丁目のスパーマーケットの西側付近から東日暮里三丁目辺りまでの広大な敷地で、大きな沼もあったんだよ。それに、鶴の世話係「網差」を命じられた植木屋伊藤安兵衛がいた。毎日鶴に餌を3回やり、人に慣れさせることが役目だったんだってさ。そのころの風景が歌川広重の「名所江戸百景」に描かれている。昔の鶴が舞い降りる風景を思い浮かべながら「飼付場」の辺りを歩いてみてね。

問合せ 荒川ふるさと文化館  
(3807)9234

蔵 養輪金杉三河しま「名所江戸百景」(荒川ふるさと文化館)